

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記の項目につきまして、検査内容の変更をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。  
謹白



### 検査内容の変更 (1P 2ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2022 掲載ページ
00597	アミノ酸分析(9種)	3
13125	25-ヒドロキシビタミンD/ECLIA(25OHVD/ECLIA)	16,28
00445	亜鉛(Zn)-血清	20
04798	CA72-4	49

変更日 2022年10月1日(土)ご依頼分より

## 検査内容の変更

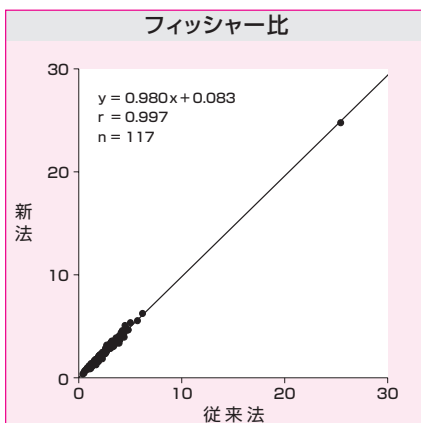
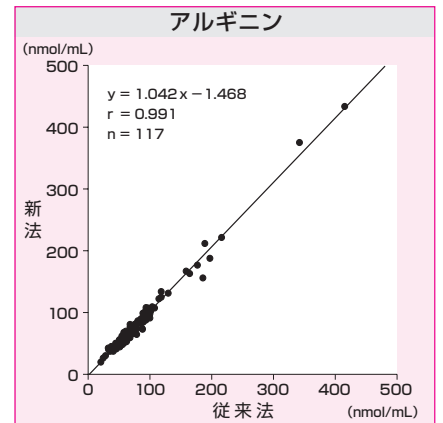
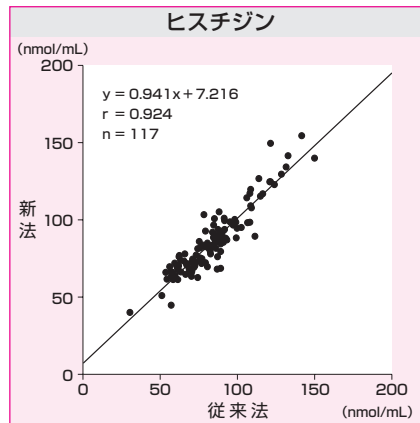
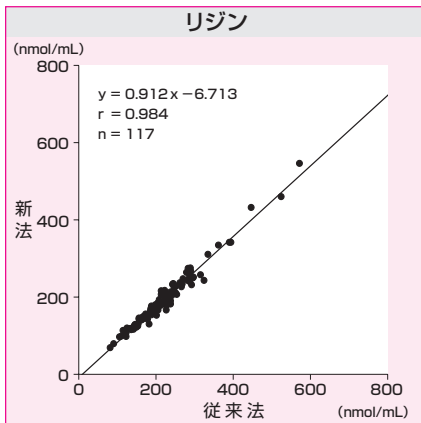
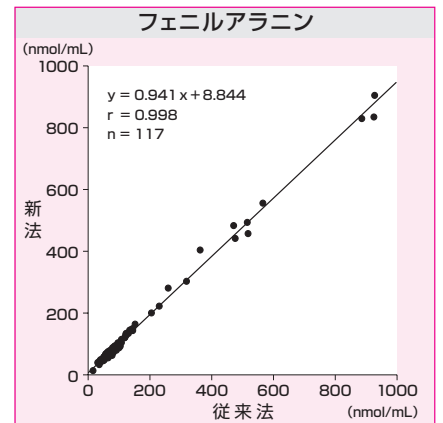
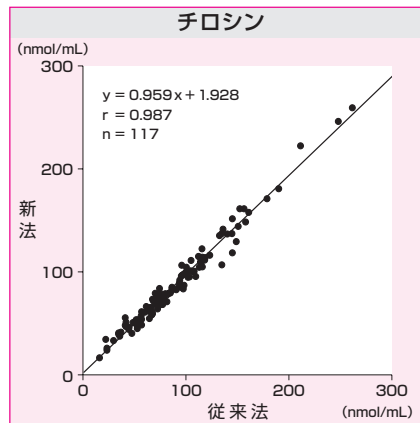
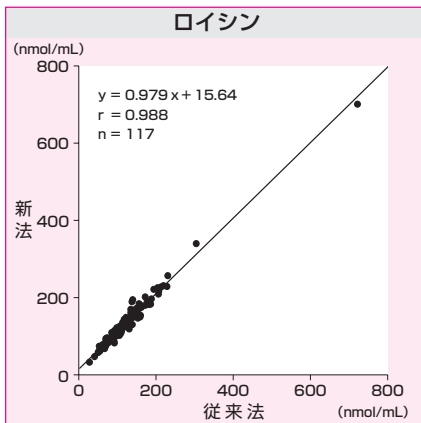
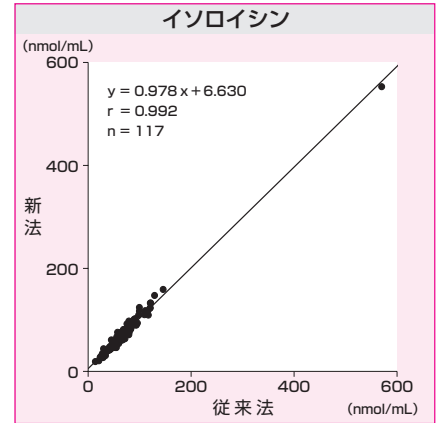
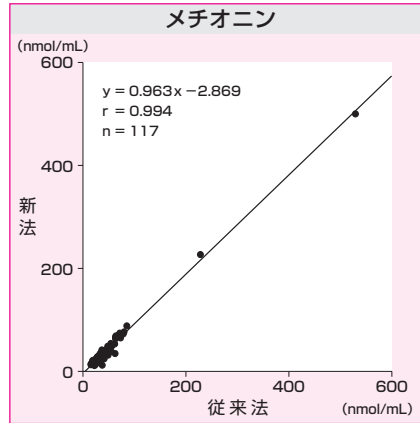
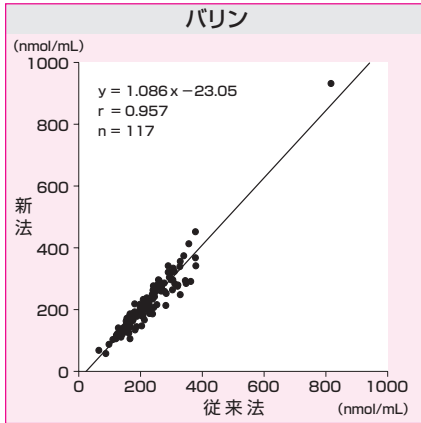
《変更日：2022年10月1日(土)ご依頼分より変更》

### ● アミノ酸分析(9種)

検体必要量の低減を目的として、検査方法を変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴い、検体必要量・報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コード No.	00597(親)アミノ酸分析/9種-血漿 ----- (子)01451 バリン (子)01452 メチオニン (子)01453 イソロイシン (子)01454 ロイシン (子)01455 チロシン (子)01456 フェニルアラニン (子)01457 リジン (子)01458 ヒスチジン (子)01459 アルギニン (子)03090 フィッシャー比	同左
統一コード	3C046-0000-022-205	3C046-0000-022-204
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.3mL	0.6mL
容器	B-7→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3~6	同左
検査方法	LC-MS法	HPLC法
基準値	バリン : 156.2~360.4 メチオニン : 15.5~38.6 イソロイシン : 37.0~100.4 ロイシン : 74.2~169.1 チロシン : 38.4~89.4 フェニルアラニン : 43.5~79.8 リジン : 125.7~281.9 ヒスチジン : 63.0~105.2 アルギニン : 31.8~149.5 フィッシャー比 : 2.2~4.3	同左
単位	アミノ酸 : nmol/mL フィッシャー比 : なし	同左
報告範囲	アミノ酸 : 5.0未満~最終値 フィッシャー比 : 0.1~最終値	アミノ酸 : 1.0以下~最終値 フィッシャー比 : 0.1~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	1141点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左

# 新法と従来法との相関

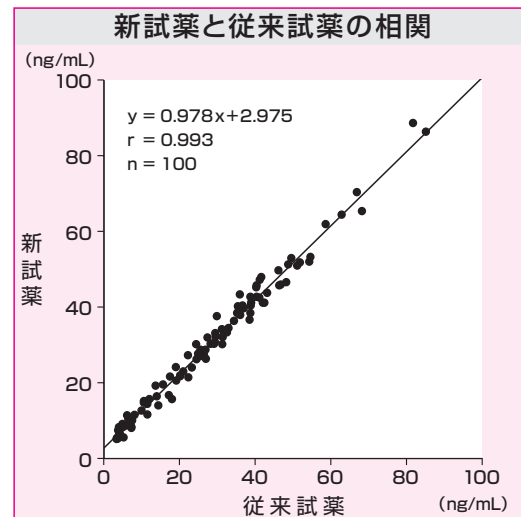


自社検討資料

## ● 25-ヒドロキシビタミンD/ECLIA (25OHVD/ECLIA)

ビオチン投与による影響を改善した同一試薬製造販売元の改良試薬に変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴い、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	13125	同左
検査項目名	25OHVD/ECLIA	同左
統一コード	3G065-0000-023-053	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~4	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	なし	同左
単位	ng/mL	同左
報告範囲	3.0未満~240.0以上	3.0未満~200.0以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	117点/144点(生化学的検査(I))	同左

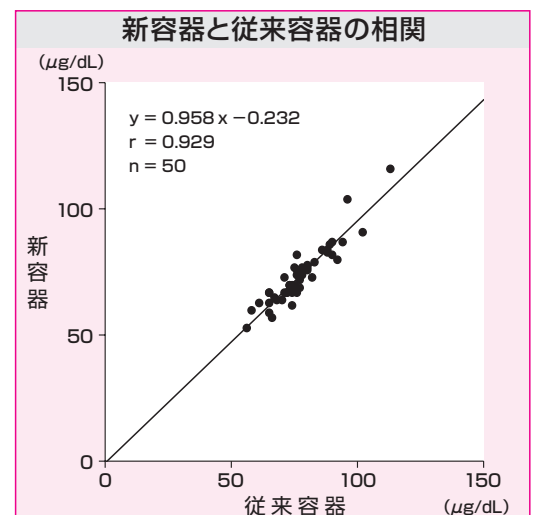


自社検討資料

## ● 亜鉛(Zn)-血清

検体採取操作の簡素化を目的として採取容器を変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴うその他の受託要領の変更はございません。

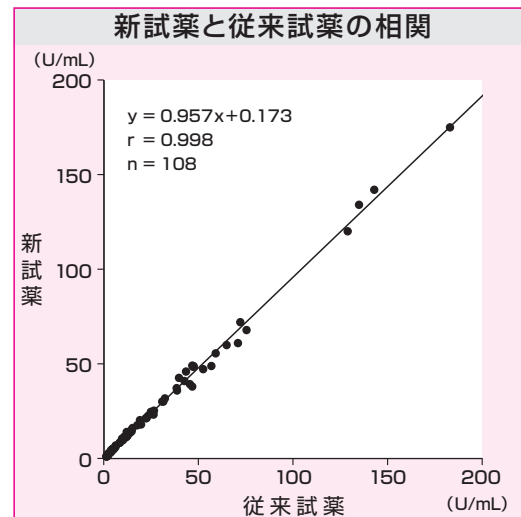
	新	従来
依頼コードNo.	00445	同左
検査項目名	亜鉛(Zn)	同左
統一コード	31030-0000-023-274	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	S-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	原子吸光分光光度法	同左
基準値	80~130	同左
単位	μg/dL	同左
報告範囲	10以下~最終値	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	136点/144点(生化学的検査(I))	同左
備考	<p>当社指定の容器で採取してください。                      指定容器以外で採取した場合、測定値が上昇する場合があります。                      ゴムキャップの使用は避けてください。                      (一部の製品で汚染の可能性あり)</p>	<p>ディスプレイブルシリンジで採血しプラスチック管に移してください。(S-1)遠心分離後、血清を別のプラスチック管(S-1)に移してご提出ください。                      当社指定の容器で採取してください。                      指定容器以外で採取した場合、測定値が上昇する場合があります。                      ゴムキャップの使用は避けてください。                      (一部の製品で汚染の可能性あり)</p>



## ● CA72-4

ビオチン投与による影響を改善した同一試薬製造販売元の改良試薬に変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴い、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	04798	同左
検査項目名	CA72-4	同左
統一コード	5D150-0000-023-053	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	6.9以下	同左
単位	U/mL	同左
報告範囲	0.5未満～最終値	1.5未満～最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	146点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左



自社検討資料